

一般質問通告書

令和3年3月定例会

1番 森山喜久議員（分割質問・分割答弁）

1 職員の人員、労務等の適正管理について

- (1) 職員の約3分の1を占める非常勤職員のうち、昨年4月1日から開始した会計年度任用職員をフルタイムからパートタイムにすると聞いたが、それは真実か。また、どのような検討を経て、その判断に至ったのか。
- (2) 毎年、職員組合から正規職員等の人員確保の要求書が提出されているが、定員適正化計画や特定事業主行動計画を踏まえ、各職場における必要人員と職員の適材適所配置の判断をどのように行っているか。また、その判断の下に行った人事異動後、各部署の労働環境が適正であることの検証をしっかりと行ってきているか。

2番 吉永美子議員（一問一答）

1 東日本大震災を始めとする被災地への支援について

現状と今後の予定を聞く。

2 市長の公約について

- (1) 公約の検証を聞く。
- (2) 次期市長選に向けて掲げる公約について思いを聞く。

3 地方創生臨時交付金について

- (1) 第1次補正予算及び第2次補正予算による臨時交付金の成果の検証について聞く。
- (2) 第3次補正予算による臨時交付金の活用について考えを聞く。

4 子育て支援について

- (1) 子育て世代包括支援センターの体制強化について考えを聞く。
- (2) 国による不妊治療や不育症検査への助成拡充について市の対応を聞く。

5 ガラスのブランド化推進事業について

- (1) 令和2年度の業務について実施状況を聞く。
- (2) 市民をどのように巻き込んでいくのか。

3番 松尾数則議員（一問一答）

1 6次産業の取組について

- (1) 第一次産業（特に農業）の現状をどのように認識しているか。
- (2) もうかる第一次産業にするために必要なシステムは、どのようなものがあると考えているか。
- (3) 山陽小野田市は6次産業にどのように関わるのか。
- (4) 直売所を利用した6次産業化の可能性はあると考えているか。
- (5) 6次産業と地域の関わりをどのように捉えているか。

2 厚狭駅南部地区まちづくり計画について

- (1) 厚狭駅南部地区まちづくり計画の取組は連続したものになっているか。
- (2) 山陽新幹線厚狭駅を厚狭駅南部地区まちづくりの核にすべきではないか。

3 協創によるまちづくりについて

- (1) 新しい価値を創出するための行政の役割は何と考えているか。
- (2) 中山間地域において、協創によるまちづくりをどのように実践していると考えているか。

4番 長谷川 知 司 議員 （一問一答）

1 教育環境について

- (1) コロナ禍にあって、不登校児童生徒数の増減はどうか。また、その子供たちへの指導をどのように行っているか。
- (2) 学校教職員の働き方改革の一つに「部活動指導員」の活用がある。本市でも採用してはどうか。
- (3) 来年度から始まる学校給食費の公会計化には様々な課題があると考えている。その一つである給食費の滞納にどのように取り組むのか。

2 地域高齢化社会への対策について

- (1) 高齢者は、買い物や通院等をするための移動が困難になりやすい。住み慣れた地域に住み続けられるように、走らせているコミュニティバスの利用実績と、そこから見えてきた課題にどのように取り組んでいくのか。また、新たな地区にバスを走らせる考えはないのか。
- (2) 高齢者による交通事故多発を受けて、高齢者の免許証返納が進んでいる。これが一層進むように市独自の施策を用意してはどうか。

3 公共施設の木造化、バリアフリー化等の方針について

- (1) 公共施設を建築する場合、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」により木材の利用に努めることとされている。本市の公共建築物の木材利用率と木造化率はどうなっているか。また、この法律をどこまで重視して取り組んできたか。
- (2) 今後、様々な公共建築物が計画されている。これらの施設への木材の

多用、バリアフリー化をどのように進めていくのか。

5番 中村博行議員（分割質問・分割答弁）

1 更生保護行政について

- (1) 再犯防止条例を制定する考えはあるか。
- (2) 入札について、総合評価方式導入の検討は進んでいるか。
- (3) 保護観察処分が解除された少年の就職先として、市の会計年度任用職員に採用することの前向きな検討はしているか。
- (4) 更生保護行政のこれまでの取組を評価した上で、今後どのように取り組むのか。

2 鳥獣対策について

- (1) 繁殖力の強いヌートリアの駆除対策に本腰を入れる時期が来ていると思う。今後どのように取り組むのか。
- (2) 鳥獣被害対策の要である猟友会への支援をもっと強化すべきではないか。

6番 山田伸幸議員（一問一答）

1 藤田市長の4年間の総括について

- (1) 市民から「市長の顔が見えない」「市長が目指しているまちづくりが分からない」と言われている。市長が掲げたスローガン「スマイルシティ」は市民に浸透していると考えているのか。
- (2) 宇宙監視レーダー基地建設に反対を掲げる市民団体も発足している。この間に、レーダー電磁波の危険性についても指摘してきたが、市長として建設反対を表明すべきではないのか。
- (3) 卸売を行ってきた小野田中央青果（株）は財政破綻したが、地方卸売市場は「市民の台所」として役割を發揮してきたと言えるか。今後も「市民の台所」は維持されるのか。
- (4) 市の非正規職員に対して、この度、労働条件の変更が行われようとしているが、このような労務対応は一貫したもので、不公正なものではないと言えるのか。定員適正化と矛盾はないのか。

7番 水津治議員（一問一答）

1 農業政策について

- (1) 本市は農地中間管理事業の推進に関する法律に基づき、人・農地プランを作成し公表している。この法律が一昨年5月に改正され、地域でしっかりと現状把握の下、真剣に話し合い、中心経営体に農地を集積・

- 集約化していく方針を決める人・農地プランの実質化に向けた取組をすることとされた。現状はどうで、今後どのように取り組んでいくのか。
- (2) 農業就業者が著しく高齢化しており、今後、高齢農業者のリタイアが急速に進むことが見込まれる。その対応策として青年層の新規就農と担い手の育成・確保が重要となっている。現状はどうで、後はどのように取り組んでいくのか。
- (3) 本市の農業政策の柱は、農業経営基盤強化促進法による農業経営基盤強化促進構想と農地中間管理事業法による人・農地プランの実質化、そして農業委員会法による農地等の利用最適化の推進であると承知している。現在、農林水産課と農業委員会は物理的に大きく離れているが、農業政策の3つの柱を着実に遂行するためには同一庁舎内で事務処理を行う体制がベストである。なぜそうしないのか。
- (4) 有害鳥獣の捕獲は継続されているが、個体数は年々増えてきている。防護柵や捕獲奨励の支援により被害は最小限にとどまっているが、中山間地域の農業者は大変苦慮されており、耕作放棄につながっている。更なる対策を講じるために有害鳥獣の生態を学び、農業被害を防ぎ生活環境を守る方策を教わる講座を開催できないか。

8 番 伊 場 勇 議員 (一問一答)

1 Wi-Fi環境の整備について

- (1) 本市の公共施設のWi-Fi環境の整備状況はどうか。
- (2) 災害時におけるWi-Fi環境の必要性をどのように捉えているか。
- ア 国の「防災等に資するWi-Fi環境の整備計画」をどのように捉えているか。
- イ 災害用統一SSID「00000JAPAN (ファイブゼロジャパン)」に対する認識はどうか。
- ウ イニシャルコストとランニングコストは把握しているか。
- エ GIGAスクール構想の実現に当たり、全小中学校に整備した通信ネットワークを災害時に活用してはどうか。
- オ 学校以外の避難所にWi-Fi環境を導入する予定はあるか。
- (3) 公共施設に公衆無線LAN (Wi-Fi) 環境を整備することで市民サービスの向上や行政効率化等を実現でき、Wi-Fiを基盤とした高度なまちづくりの展開も可能と考える。
- ア 市役所への導入効果をどう考えているか。
- イ 図書館への導入効果をどう考えているか。
- ウ 公民館への導入効果をどう考えているか。

エ イニシャルコスト・ランニングコストは把握しているか。

オ 導入後に生じるリスク対策をどのように考えているか。

カ アからオまでを踏まえた上で導入する予定はあるか。

9番 大井 淳一朗 議員 (一問一答)

1 今後のきらら交流館の在り方について

きらら交流館はこれまで宿泊研修施設として重要な役割を果たしてきたが、施設の老朽化や利用者ニーズの多様化などを受けて、新たなコンセプトの創設も含めた整備の方向性について検討している。

(1) 官民連携事業の導入可能性調査の概要はどのようなものだったか。また、今後のスケジュールはどのようになっているか。

(2) 現行の指定管理者制度とどう違うのか。

(3) 新たなコンセプトの創設とは具体的に何を指すのか。

(4) きららガラス未来館や竜王山オートキャンプ場とどのように融合させていくのか。

2 職員の働き方改革について

数年前から推進されている「働き方改革」に加え、昨今、新型コロナウイルス感染拡大防止のためのテレワークやペーパーレス化の重要性が高まっている。また、Zoom等を使ったオンライン会議などを実施することで業務の効率化を図ることもできる。

(1) テレワークの実施状況はどうか。

(2) ペーパーレス化の現状はどうか。

(3) オンライン会議の実施状況はどうか。

(4) 上記(1)から(3)までを踏まえ、どのように取り組んでいくのか。

3 まちの魅力発信について

市の重点施策の一つとして「まちの魅力発信向上プロジェクト」を掲げ、様々な取組をしているが、魅力を感じた人がその場所に行く、その物を購入する、このまちに住むといった行動に十分結び付いているとは言えない。これまでの魅力発信はもちろんのこと、次の行動に結び付く取組をすべきである。今後、どのように取り組んでいくのか。

10番 岡山 明 議員 (分割質問・分割答弁)

1 避難所の事前対策について

(1) 避難所は場所により高低・広狭の違いがあるが、災害の種類に応じた対応策をどう考えているか。

(2) 改訂版「避難所開設・運営マニュアル」には避難者の感染対策が十分

盛り込まれているか。

(3) 災害物資等供給・応援体制はどの程度整備されているか。

(4) 生活物資は、どこに備蓄され、どのように保管されているか。

2 きららビーチ焼野について

(1) きららビーチ焼野（CCZ）の整備により交流人口はどの程度増加したか。

(2) 海水浴場の利用・管理状況はどのようになっているか。

(3) 駐車場の運用・管理状況はどのようになっているか。

(4) 現在、「幸せの鐘」は午後5時までしか鳴らすことができないが、「夕陽百選」にも選ばれた夕陽が沈む時間までは鐘を鳴らせるようにすべきではないか。

1 1 番 杉 本 保 喜 議員 （一問一答）

1 防災・減災対策について

(1) 2018年大阪北部地震で、高槻市立寿栄小学校4年生の女児がブロック塀損壊による下敷きで死亡したことから、全国的な調査と対策が実施された。本市における関連の調査結果とその後の対策は、通学路安全確保においてどのように実施しているか。そこでの問題点、改善点は何があるか。また、これらの通学路は災害時の避難路にもなっている所もある。安全な避難路として確保できているか。

(2) 年々災害発生が繰り返される昨今、地域住民が速やかに適切な避難所に避難できる体制と住民への避難意識を持たせる手だては早急に成されなければならない。コロナ禍で「3密」を避けた避難所の受入態勢はできているか。また、実働訓練を行う計画はあるか。

(3) 災害の規模によって他市県からの受援が必要となる場合がある。本市の他地区への支援経験に基づく受援体制はできているか。

2 「協創によるまちづくり」について

(1) スマイルプランナー制度を始めとする市民活動の活性化によるまちづくりの目標と具体的な計画を問う。

(2) 今活動している公的住民活動団体を始め、市民団体とどのように具体的活動を進め、「スマイルシティ」としての効果을上げようとしているのか。

(3) スマイルエイジングの野外版といえる具体策として、須恵健康公園に運動器具が設置された。他の公園やスポーツ施設の活用を含めた展開策はどのようなものを考えているか。また、多くの人から継続利用されることが重要であり、その手だてをどう講じていくのか。

1 2 番 藤 岡 修 美 議員 (一問一答)

- 1 人口減少の深刻化と高齢者人口のピークを迎える2040年頃に見込まれる諸課題(2040問題)に対する本市の取組について
 - (1) 「本市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取組について、平成30年度の達成度を基に検証されているが、これを今後どのように取り組んでいくのか。
 - (2) 令和2年6月に地方制度調査会から「2040年頃から逆算し顕在化する諸課題に対応するために必要な地方行政体制のあり方等に関する答申」が出されたが、今後どのように取り組んでいくのか。
 - (3) 「協創によるまちづくり推進指針(案)」を策定中であるが、これを基にどのようなまちを実現したいのか。
- 2 スポーツによるまちづくりの取組について
 - (1) 総合型地域スポーツクラブの設立が進んでいない。その対策をどう考えているか。
 - (2) 「山口県総合型地域スポーツクラブ認定システム」が作られようとしているが、どのような効果が想定されるか。
 - (3) 令和2年9月1日に国から「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」の通知が発出された。本市ではこれにどう取り組むのか。

1 3 番 河 野 朋 子 議員 (分割質問・分割答弁)

- 1 藤田市政4年間の検証について
 - (1) 企業経営の経験を行政運営にどのように生かしたのか。
 - (2) 職員のモチベーションを上げるための組織運営はできたのか。
 - (3) 「市民が主役のまちづくり」は実現できたか。
 - (4) 自治基本条例第11条第3項に「市長は、具体的な目標を掲げた政策公約を公表し、その達成状況を公表する」とあるが、1期目の達成度はどうか。また、2期目にその予定はあるか。
- 2 今後の厳しい財政状況について
 - (1) 市税の減収が見込まれるが、歳入確保に向けた方策はあるのか。
 - (2) 歳出のうち人件費が年々増加しているが、どのように考えるのか。

1 4 番 宮 本 政 志 議員 (一問一答)

- 1 厚狭駅周辺のまちづくりについて
 - (1) 厚狭駅周辺の発展と一体性のあるまちづくりを進めていく上で、道路や連絡通路の整備は重要である。そこで、厚狭駅周辺まちづくり構想と

厚狭駅南部地区まちづくり基本計画で重要視している南北の連絡機能強化と厚狭駅北部地区の都市計画道路整備を、今後どのように進めていくのか。

- (2) 厚狭駅南部地区まちづくり基本計画に、山口県と本市が連携して子育て世帯に配慮した公的賃貸住宅を整備するとある。この公的賃貸住宅の整備は、今後どのように進むのか。
- (3) 厚狭駅南部地区まちづくり基本計画のモデル地区に、子育てしやすい住みやすい環境を整え、子育て世代の定住と地域コミュニティの形成を促進するための新しい公立保育所が整備される。この保育所では災害対策をどのように講じることになっているか。
- (4) 昨年、厚狭駅南部地区まちづくり基本計画の一部が改訂され、コーポラティブ方式を導入した戸建て住宅の誘導が見直された。その見直しの理由は何か。また、今後どのように進んでいくのか。
- (5) 厚狭駅南部地区まちづくり基本計画では、多世代が交流できる場所づくりを促進するための世代を超えた交流拠点施設として「さくら公園」を位置づけている。この公園をどのように活用していくのか。
- (6) 厚狭駅周辺の発展と一体性のあるまちづくりを確固たるものにするため、取り急ぎ対応すべきことは水害対策である。厚狭駅周辺の水害対策をどう捉え、どのように取り組んでいくのか。